

「関西ダイアログ2024」を3月19日に開催しました！

～イベントの様子をYouTubeにて本日から公開します～

これからの時代を担う若い世代が、関西での将来の暮らし方や働き方、地域のあり方についてどのような不安を抱き、どのような未来を期待しているのか一緒に対話し、関西の国土づくりのビジョンを考える「関西ダイアログ 2024」を開催しました。
イベントの様子をYouTubeにて公開します。

イベント概要

- ① 開催日時: 令和6年3月19日(火) 15時～17時
- ② 開催場所: 近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1F 共用会議室
大阪府中央区大手前3丁目1-41
- ③ 概要: 近畿地方整備局・近畿運輸局では、総合的かつ長期的な国土のあり方を示す国土形成計画「新たな関西広域地方計画」について、検討をおこなっています。新たな関西広域地方計画の検討にあたって、これからの時代を担う若い世代が参加し、関西の将来について、対話を通じて一緒に考える「関西ダイアログ2024」を開催しました。対話のテーマは、「関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。」「これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。」の2つです。
※イベント当日は、近畿圏広域地方計画有識者会議で座長、座長代理を務めていただいている京都大学経営管理大学院 小林潔司特任教授、大阪公立大学研究推進機構 橋爪紳也特別教授にご参加いただきました。

・イベントの様子は以下 URL もしくは QRコードより視聴いただけます。
(本日から半年間公開します。)

<https://www.youtube.com/watch?v=cyWZHhSAJ1Q>



< 取扱い >

< 配布場所 > 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

< 問合せ先 > 国土交通省 近畿地方整備局 近畿圏広域地方計画推進室

近畿地方整備局 企画部 広域計画課長 大國 喜郎 (おおくに よしろう)

TEL: 06-6942-4090(直通)

- 関西広域地方計画に若者の意見を取り入れるため、関西ダイアログ2024を開催。
- 「Dialog=対話」によって新たな気づきや発見を見だし、意見を形成するイベント。

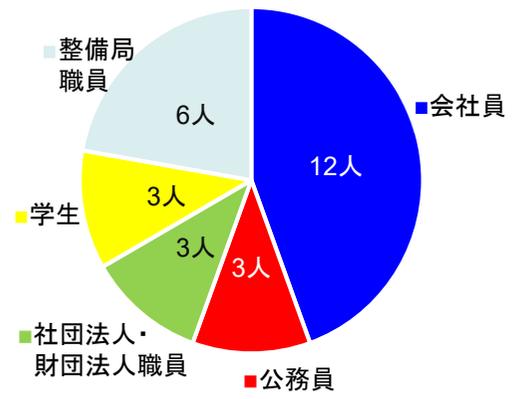
■日時：令和6年3月19日(水) 15時～17時
 ■場所：近畿地方整備局 1階会議室
 ■参加者：有識者会議座長 京都大学 小林潔司氏
 有識者会議座長代理 大阪公立大学 橋爪紳也氏
 近畿地方整備局 黒川副局長、小島企画部長
 若者27名(18歳以上30歳以下)
 ※イベントの様子をYouTubeにて4/4から半年間公開します

<https://www.youtube.com/watch?v=cyWZHhSAJ1Q>

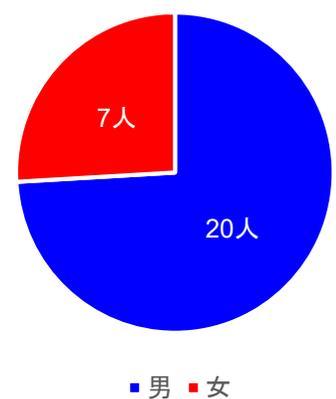
■報道関係：5社
 日刊建設通信新聞社、建通新聞社
 大阪建設工業新聞社、日刊建産速報社
 日刊建設工業新聞社



参加者の所属内訳



参加者の性別



【対話テーマ】

- ① 関西の好きなおとこ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。
- ② これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。

【主な意見】

- ① アンチ〇〇ということで特に東京に負けたくないという気持ちが関西は強い。同じ関西でも大阪ではなく神戸、神戸ではなく京都と都市間肩並べて競争しつつ色々取り組んでいるのが特徴。
- ① 新しいブランドを海外から初出店する場合、首都圏なら東京に一号店を作るが関西なら稀に大阪ではなく京都に作っている。ブランディングを考える上でこの店は大阪ではなく京都、神戸と選択肢として並列な関係で捉えられているのが特徴。
- ① 若者特有の悩みとして親同士でコミュニティを作りにくいと言うのがある。親同士でマッチングできる場所があれば、コミュニティも広がっていき、子育て対策にもつながる。
- ② 街の賑わい創出が重要。そのためには大学の魅力向上や企業誘致、2府4県の交通ネットワークの強化が必要である。

対話風景



集合写真



発表状況

